

文化遺産国際協力コンソーシアム設立１０周年記念

「文化遺産からつながる未来」開催要項

開催趣旨

タリバンによるバーミヤン石仏の破壊をきっかけに設立されたネットワーク組織である文化遺産国際協力コンソーシアムは今年で１０年を迎え、これまで文化遺産の保存や活用に関する様々なプロジェクトを支援してきました。そこには、文化遺産を通じた異文化理解、多文化共存など地球の平和を実現しようとする強い信念と行動の裏付けが存在していました。しかしながら、近年の自然環境の悪化を始め、紛争や自然災害の頻発などが、以前にも増して文化遺産の保護と活用に対する脅威となっていることは間違いありません。その意味で、文化遺産国際協力コンソーシアムは、そして、文化遺産に関する我が国の国際協力は、今後どうあるべきなのかを改めて考えるべき時期に来ているように思われます。そこで本シンポジウムでは、将来においてどのような協力が可能なのか、また、その実現のために今何をすべきなのかについて専門家の方々に具体例を紹介しながら語っていただき、文化遺産の国際協力における我が国の将来像を考える糧としたいと考えます。

日時

平成２８年９月２５日（日）１３時３０分～１７時３０分（開場１２時３０分～）

途中入退場可

会場

ＴＫＰガーデンシティ品川（東京都港区高輪３－１３－３）

言語

日本語／英語（同時通訳あり）

定員

３００名（事前申込み制）

参加費

無料

申込み方法

文化遺産国際協力コンソーシアム公式サイトของフォームよりお申し込みください。

<https://www.jcic-heritage.jp/eventform/>

主催

文化庁、国際交流基金アジアセンター、文化遺産国際協力コンソーシアム

プログラム

１３：３０～ 主催者挨拶 宮田亮平（文化庁長官）

柄 博子（国際協力基金理事）

- 13:40～ 「平山郁夫先生と私」 古屋圭司衆議院議員
(元文化財国際協力推進議員懇談会幹事)
- 14:00～ 「文化遺産により世界の架け橋を目指す
—コンソーシアム10年を振り返って—」
石澤良昭 (文化遺産国際協力コンソーシアム会長)
- 14:20～ 休憩
- 14:30～ 講演1
「文化遺産を支える人々の輪—混迷つづく国際社会の中で」
岡田保良 (国士舘大学イラク古代文化研究所所長)
- 15:00～ 講演2
「「クローン文化財」の文化遺産への活用と意義—デジタルと
アナログを組み合わせた技術による人材育成」
宮廻正明 (東京藝術大学教授)
- 15:30～ 講演3
「文化遺産保存に対するJICAの取組—誰一人取り残され
ない世界の実現をめざして—」
江島真也 (国際協力機構企画部部長)
- 16:00～ 休憩
- 16:15～ ディスカッション「コンソーシアムの課題と展望」
司 会：関雄二 (国立民族学博物館教授)
参加者：ニュン・ハン (東南アジア教育大臣機構考古学・
美術センター上級研究員)
青木繁夫 (東京文化財研究所名誉研究員)
講演者3名
- 17:25～ 閉会挨拶 前田耕作 (文化遺産国際協力コンソーシアム副会長)

後援

外務省，東京文化財研究所，奈良文化財研究所，国際協力機構，住友財団，
三菱財団，トヨタ財団，文化財保護・芸術研究助成財団，ユネスコ・アジア
文化センター文化遺産保護協力事務所，日本ユネスコ協会連盟，国立民族学
博物館，日本イコモス国内委員会，NHK，朝日新聞社，産経新聞社，東京
新聞，日本経済新聞社，毎日新聞社，読売新聞社

シンポジウムに関するお問合せ

文化遺産国際協力コンソーシアム事務局
東京都台東区上野公園13-43 (東京文化財研究所内)
TEL: 03-3823-4841
FAX: 03-3823-4027

<ニュン・ハン氏来日記念、特別講演会のお知らせ>

シンポジウム翌日の 9 月 26 日（月），ディスカッション登壇者のニュン・ハン氏による特別講演会を開催します。ミャンマーの文化遺産保護に精通する同氏の幅広い知見をお話しいただきます。（問合せ先：文化遺産国際協力コンソーシアム事務局）

「ミャンマーにおける文化遺産保護の現況と課題」

日時：平成 28 年 9 月 26 日（月）14 時 00 分～16 時 00 分

場所：東京文化財研究所地階セミナー室（東京都台東区上野公園 13-43）

定員：110 名（事前申込不要，先着順），参加費無料，逐次通訳あり

主催：文化庁，国際交流基金アジアセンター，文化遺産国際協力コンソーシアム